

貧困拡大社会にNO!

私もあなたも暮らしが危ない

生活保護引き下げ反対集会

市民のみなさん、アベノミクスによる「成長と分配」を実感できるでしょうか。国家予算は過去最大の97兆円に膨らんでいるのに、生活保護費だけは「見直す」とされ削減されます。今年10月からは子どものいる世帯や65才以上の高齢者など67%の人に影響がでます。生活保護費の削減は、7人に1人の子どもが貧困状態にある中で就学援助、最低賃金など低所得の人には47の制度に影響がでます。非正規労働者などアンダークラスと言われる年収186万円以下の貧困層が930万人に達している中、生活保護は「命のとりで」です。でも利用者は必要とされている人の2割程度にすぎません。

格差と貧困が広がるのを防ぐにはどうしたらよいのでしょうか。市民にできること、地域の中でやれることはないのでしょうか。

〔講師〕 雨宮処凛さん(作家)

タイトル: 「貧困拡大社会で生きるには」

プロフィール: 1975年、北海道生まれ。作家・活動家。

愛国パンクバンドボーカルなどを経て、2000年、自伝的エッセイ『生き地獄天国』(太田出版/ちくま文庫)でデビュー。以来、いじめやリストカットなど自身も経験した「生きづらさ」についての著作を発表する一方、イラクや北朝鮮への渡航を重ねる。

06年からは格差・貧困問題に取り組み、取材、執筆、運動中。メディアなどでも積極的に発言。3・11以降は脱原発運動にも取り組む。07年に出版した『生きさせろ! 難民化する若者たち』(太田出版/ちくま文庫)はJCJ賞(日本ジャーナリスト会議賞)を受賞。

『14才からわかる生活保護』(河出書房新社)他著書多数。(新刊)『「女子」という呪い』(集英社クリエイティブ)。

立川市生活保護廃止自殺事件調査団の呼びかけ人の一人。

〔講師〕 山岸倫子さん(社会福祉法人、大学ほか)

タイトル: 「ソーシャルワーカーが語る生きづらさからの脱出法」

プロフィール: 社会福祉法人に在籍しつつ、大学や支援者団体に顔を出しているソーシャルワーカーです。人が生きるってどういうことか、その生を保障するってどういうことか、そんな事を考えながら仕事をしています。

〔発言〕 生活保護費削減反対国賠訴訟三多摩原告団、三多摩アクション

日時 / 6月30日(土) 午後1時30分～4時30分 (受付1時15分～)

会場 / 立川市女性総合センター(AIM)

5階 第3学習室 (立川駅北口徒歩7分)

定員80名 資料代500円(生活困窮者無料)

生活保護費大幅削減反対! 三多摩アクション

連絡先: 吉田 TEL:080-5088-3897 メール:saka22ponta@ezweb.ne.jp

NPO法人さんきゅうハウス 立川市羽衣町3-14-13

